

第？回

ビームを使ったコミッションング

Itaru Nakagawa, Rachid Nouicer, Maya Shimomura, Genki Nukazuka,
Raul Cecato, Cheng-Wei Shih, Jaein Hwang, Joseph Bertaux,
Misaki Hata, Mai Kano, Manami Fujiwara, Hinako Tsujibata,
Ryota Shishikura, Tomoya Kato

第 ? 回 (2023/07/24): タイミングスキャン

[E-Log](#)

目的

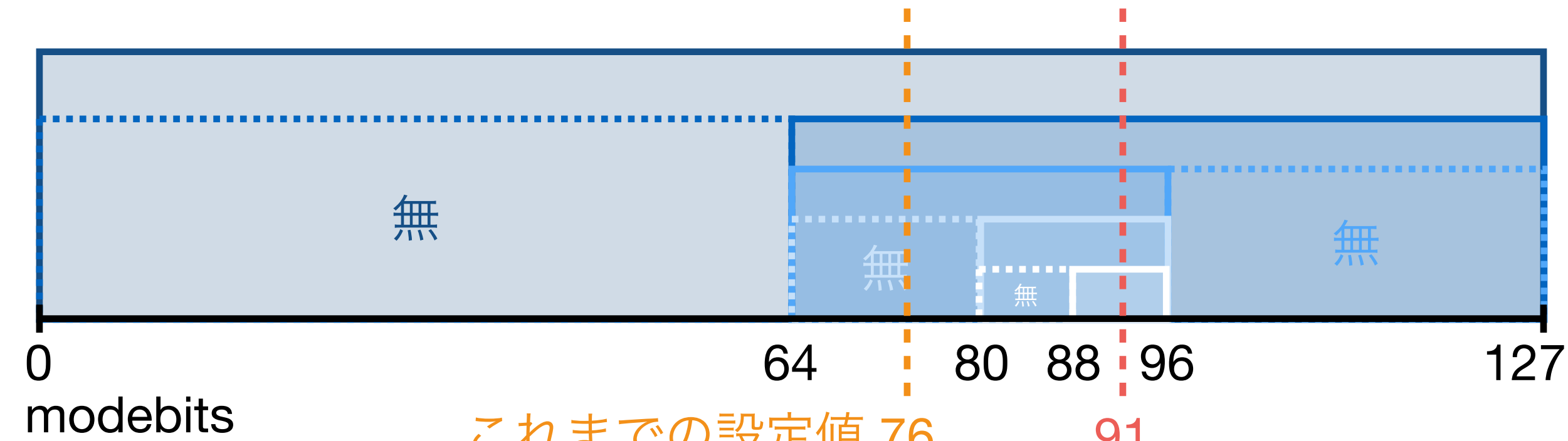
- 2023/07/22 のデータ収集でタイムインできなかった、
- Modebits を調整してタイムインする。

測定

- ラン : 23642 - 23667
- $n_collisions$ と modebits を変えながら、タイムインできる modebits 値と最小の $n_collisions$ の組み合わせを見つける
 1. $n_collisions = 127$ (全範囲) : ビームデータが取れた
 2. $n_collisions / 2$, modebits を $n_collisions$ に合わせて調整しデータ収集→ビームデータの有無を確認
例: $n_collisions = 64$, modebits = 79 : ビームデータ無し、もう一つの領域にビームデータがあることを確認
 3. 手順 2 を繰り返す
- modebits = 91 がタイムインするタイミング、全 FELIX が同一 1 BCO 値でヒットを収集できた
- 測定の 2 回に 1 回は BCO 分布が 2 グループに分かれる

次のステップ

- DAC0 スキャン
- ラダーマップの確認
- チャンネルマスク



これまでの設定値 76 91

